

東白川村 美しい村づくり 委員会

第四回

- 場所：役場別館 3 階会議室
- 時期：平成 28 年 6 月 23 日（木）19：00～21：30
- 参加者：委員 7 人 ゲスト 5 名 行政 5 名

【今後委員会が行っていく教育活動】について話し合いました。

①グループワーク

2 グループに分かれて、それぞれ【今後委員会が行っていく教育活動】について意見出しを行いました。

<グループ 1 で出た意見>

- ・教育を通して村から通える仕事を増やす。
- ・他地域では郷土料理をレシピ本として残し、保存してある。
- ・最近では大人と子供とで、一緒に料理をする機会自体が減っている傾向にある
- ・食育の場をもっと増やしていくべき。
- ・特産品のお茶も白川茶発祥の地も自分の目で見てもらうことが大切。
- ・昔から伝わる行事がだんだんと疎かになりつつある。特に家庭が舞台となるような行事はもっと行っていくべき。
- ・親から子への伝わりがどんどん消えていっているように感じる。
- ・交流が増えれば村に帰ってくるキッカケにもなる。
- ・忙しいのを理由に子どもに教えたり伝えたりするゆとりや余裕がなく、その都度丁寧に向き合ってあげるべきだった。

▼まとめ①

拠り所やつながり、記録を作っておくことで、子ども達に伝え残すことができる。” ○○の事なら○○さんに…”といったような、分野ごとに人材バンクを作っておくと便利。

<グループ2で出た意見>

- ・ 朴葉寿司のルーツを知る
- ・ 生活から学ぶ
- ・ 遊ぶ場、気付きの場をつくる（大人と大人との関係）
例：教員と地域の方との関係を醸成する場（野球や飲み会など）で、地域文化の大切さを自覚する。
- ・ 村内の看板のデザインを見直し、綺麗にしたい。
- ・ 花などの自然や生物を育て地域をまわり触れ合うといった活動を続けていきたい（マリーゴールド、サルビア、実のなる樹：グミなど）
- ・ 3世代の格差が目立つ（あたりまえの違い）
- ・ 農業、山のこと、祭り、季節行事など今を紐解き、ルーツを伝える。
- ・ 70代、80代、90代の、村の人脈を広げる。

▼まとめ②

次世代に村の魅力や誇りを伝え残していくためには、地域の人達との繋がりを強くするための「人材バンク」を設立することが、まずは、第一の目標となりました。そのため、次回からは「人材バンク」を作ることを目標とした全体スキームを委員会で話し合い、掘り下げていくこととなりました。

